

CICIAMS News



Comité International Catholique des Infirmières et Assistants Médico-Sociales - 国際カトリック看護師および医療ソーシャルアシスタント委員会2023年冬

国際会長：

コシムテス博士 (PhD,RN)
エスワティニ

事務総長

ダイアナ・ルジカ, MSN, RN
アメリカ合衆国

会計

モボランレ・オンビコ, RN, RM
ナイジェリア

アフリカ地域会長

ロザリン・オコボ, MHPM, RN
ナイジェリア

アジア地域社長

フランシスカ・マランティン, RN
マレーシア

ヨーロッパ地域社長

マルゴリータ博士 (ゴシア)
ブリュクチンスカ博士, RN, OCV
イングランド

パンアメリカン地域会長

マリアン・ノワック博士, DNP, RN
アメリカ合衆国

倫理委員会委員長

ジョイス・アスフィさん (RM, RN)
ナイジェリア

家族委員会委員長

シスター・センシア・アダチェ, OSF
ナイジェリア

助産師委員会委員長

CINGO代表
アン・カビムバ博士 (PhD, RN)
ケニア

専門委員会委員長

ステラ・チスンカさん, DNE, RN
ザンビア

規則委員会委員長

ジェーン・ブクアンさん (MN, RN)
マレーシア

国連代表 (UN)

(DGC/ECOSOC/ユニセフ)
パトリシア・セイヤーズ博士, DNP, RN
アメリカ合衆国

クレッシェンド代表

ベアトリス・ヴァン・ドーサー氏, BN, RN
オランダ



国際会長のデスクから International President's Desk

親愛なる兄弟姉妹の皆様、2023年の年頭にあたり、世界中の皆様にご挨拶できることを大変光栄に思います。神の愛と慈悲、命という贈り物、そして昨年私たちが得たあらゆる機会と経験に感謝することは、私たちにとって非常に大切だと思います。

たとえどんな経験をしてきたとしても、今年は人生のあらゆる場面で神の摂理的な愛を実感していきたいと思います。このことを思い返すと、かつて読んだある裕福な男性の話の思い出します。ある男性がランボルギーニを運転して繁華街を走っていた時のことです。彼が駐車場に停車すると、好奇心旺盛な通行人が運転手に「そんなに高価な車に乗っているのに、リアウィンドウが割れていることに気づかなかったのですか？」と尋ねました。男性は「割れたガラスでも運転を続けるには理由がある。割れた窓は神の摂理的な愛を思い出させてくれる」と答えました。そして、窓が割れた経緯を語り続けました。

かつて、彼は高級車で道路を猛スピードで走っていたとき、突然車の後ろから何かが砕けるような音が聞こえ、自分の車に石が投げつけられたことに気づきました。怒りに駆られた彼は車から降りて、誰が自分の車に石を投げたのかを確認しました。すると、それは小さな男の子で、泣きながら彼に懇願してこう言いました。「先生、弟を見て。体が麻痺しているんです。道路を渡るのを手伝おうとしたら、猛スピードで走ってきた自転車にひかれてしまったんです。たくさんの人に助けを求めましたが、誰も気に留めてくれませんでした！ついに、絶望のあまり、怪我をした弟を助けてもらうために、最初に来た車に石を投げることにしました。先生、高価な車が壊れてしまって申し訳ありません。」

目に涙を浮かべた男性はこう答えました。「私の車の窓は割れていますが、それはまた、時には神が何かを壊すことを許して、立ち止まって助け合う必要があること、そして人生のあらゆる面で神に頼る必要があることを思い起こさせるものでもあるのです。」

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、私たちの生活の中で割れた窓について少し考えてみたいと思います。それは、私たちの生活を襲った悲劇や災害、予期せぬ出来事や予想外の展開によって生じたものかもしれません。

おそらく理解するのは難しいかもしれませんが、より深く考えてみると、そのような「割れた窓」は神の摂理的な愛の兆候であることが分かります。

最後に、組織としての私たちの価値観と目標を皆様に改めて心に留めていただきたいと思います。これらは、私たちが共に大切に、互いに関わり、活動していく上での指針となる価値観であり、技術的に重点を置くべき分野であり、効率的な活動を促進し、成果達成へと導く戦略的活動であり、そして、教会内部では私たち自身、そして教会内の他の信徒組織や戦略的パートナーとの効果的な連携のためのコミュニケーションメカニズムです。皆様にとって、今年の国際病者の日が実りある、意義深い記念日となりますようお祈り申し上げます。

執行委員会、委員会、総会、そしてCICIAMSファミリーの皆様をはじめ、世界各地で素晴らしい活動を展開してくださっている皆様に感謝申し上げます。共に協力することで、CICIAMSのリーダーシップと会員の皆様は、より積極かつ効果的で、責任ある組織へと成長できると確信しています。

神は私たち全員を祝福します。

コシムテス博士, PhD, MPH, BeD, DipM, RN

フランシスコ教皇聖下のメッセージ 第31回世界病者の日 (2023年2月11日) February 2023)

「彼を大事にしてあげて」

シノドスにおける癒しの実践としての思いやり

親愛なる兄弟姉妹の皆様！

病気は人間性の一部です。しかし、病気が孤立して経験され、配慮や思いやりを伴わない放棄は、非人道的なものになりかねません。

他者と共に旅に出るとき、誰かが体調を崩したり、疲労や途中でのトラブルで立ち止まらざるを得なくなったりすることは珍しくありません。まさにそのような時こそ、わたしたちがどのように共に歩んでいるのかを自覚する時です。真の旅の仲間なのか、それとも同じ道を歩む単なる個人として、自分の利益だけを追求し、他者を「間に合わせ」しているだけなのか。だからこそ、第31回世界病者の日に、教会全体がシノドスの道を歩む中で、わたしたち皆が深く考えるよう招きます。それは、弱さと病気を経験することによってこそ、神の様式、すなわち親密さ、思いやり、優しさに従って共に歩むことを学ぶことができる、ということです。

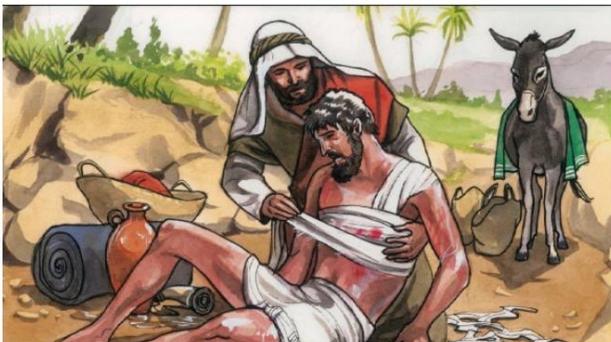


預言者エゼキエル書の中で、主は神の啓示のハイライトの一つを表す次の言葉を語られます。「主なる神は言われる。わたしはわたしの羊の牧者となり、彼らを伏させ、わたしは失われた者を捜し、迷った者を連れ戻し、傷ついた者を包み、弱い者を強くし、義をもって彼らを養う。」(34:15-16)。戸惑い、病気、弱さといった経験は、人間の旅路の一部です。それらは私たちが神の民から排除するどころか、主の関心の中心へと導きます。なぜなら、主は私たちの父であり、その道の途中で御子を一人たりとも失うことを望まれないからです。ですから、真に共に歩み、使い捨て文化に抵抗できる共同体となる方法を、主から学びましょう。

回勅「フラテッリ・トゥッツィ」善きサマリア人のたとえ話を改めて読むよう私たちに勧められています。私がこのたとえ話を選んだのは、私たちがどのようにして閉ざされた世界の「暗雲」から「開かれた世界を思い描き、生み出す」ことに移行できるかを説明するためです(1949年11月参照)。(56)イエスのこのたとえ話と、現代世界において兄弟愛が否定されている様々な様態との間には、深い繋がりがあります。特に、殴打され、強盗に遭い、道端に置き去りにされた男の姿は、あまりにも多くの兄弟姉妹が最も助けを必要としている時に置き去りにされている状況を象徴しています。もはや、自然な原因から生じる人間の生命と尊厳への攻撃と、不正と暴力によって引き起こされる攻撃を区別することは容易ではありません。実際、不平等の増大と少数の人々の利益が優先される傾向は、あらゆる人間環境に影響を及ぼし、いかなる経験も純粋に「自然な」原因によるものと見なすことは困難です。あらゆる苦しみは、「文化」とその様々な矛盾という文脈の中で生じます。

ここで特に重要なのは、孤独と見捨てられという状態を認識することです。このような残酷さはたとえ話が語るように、不正は他のどんな不正よりも容易に克服できるものだからです。なぜなら、たとえ話が語るように、不正を消し去るには、ほんの一瞬の注意、つまり心の中の同情に動かされるだけで十分だからです。敬虔で信仰深いとされる二人の旅人は、負傷した男を見ましたが、立ち止まりませんでした。しかし、三人目の通行人、サマリア人、軽蔑されていた外国人は、同情心に打たれ、道行く人に兄弟のように接し、介抱しました。そうすることで、彼は何も考えずに、変化をもたらし、世界をより兄弟愛に満ちたものにしたのです。

兄弟姉妹の皆さん、私たちは病気に備えることがほとんどありません。自分が年を取っていることさえ認めようとしにくいことがよくあります。わたしたちの弱さはわたしたちを怖がらせ、蔓延する効率至上主義の文化はそれを覆い隠そうと仕向け、人間としての弱さを顧みさせません。こうして、悪が突如現れ、わたしたちを傷つけると、わたしたちは愕然としてしまいます。さらに、そのような時、他者から見捨てられてしまうかもしれません。あるいは、自分自身が弱っている時には、負担にならないように他者を見捨てるべきだと感じるかもしれません。こうして孤独が訪れ、まるで神ご自身がわたしたちを見捨てたかのような、苦い不正義感に蝕まれてしまうのです。実際、他者との関係、そして自分自身との関係が損なわれている時、主との平和を保つことが難しくなるかもしれません。ですから、病のさなかにあっても、教会全体が福音書に出てくる善きサマリア人の模範に倣うことが重要です。教会が真の「野戦病院」となるためです。教会の使命は、特に現代の歴史的状況において、思いやりの行為の中に現れるからです。私たちは皆、脆く傷つきやすく、立ち止まり、寄り添い、癒し、立ち上がらせることのできる思いやりを必要としています。だからこそ、病者の窮状は、まるで兄弟姉妹がいなかったかのように、ただ歩みを進める人々の無関心を切り裂き、歩みを緩める呼びかけなのです。



世界病者の日は、苦しむ人々への祈りと寄り添いを呼びかけます。しかし同時に、神の民、医療機関、そして市民社会が、共に前進していくための新たな方法に関して、認識を深める必要がある。前述のエゼキエル書は、経済的、文化的、政治的権力を行使する者たちの優先順位を厳しく批判している。「あなたたちは脂肪を食べ、羊毛をまとい、肥えた家畜を屠る。しかし、羊を養わない。あなたたちは弱い者を強くせず、病人を癒さず、傷ついた者を包帯で包まず、迷った者を連れ戻さず、失われた者を捜さず、かえって力強く、厳しく彼らを支配した。」(34:3-4)。神の言葉は常に啓発的で時宜にかなっている。非難する点だけでなく、提案する点においてもそうである。実際、善きサマリア人のたとえ話の結末は、対面での出会いから始まった友愛の実践が、組織的なケアへとどのように拡大していくことができるかを示唆している。宿屋、宿屋の主人、お金、そして状況について知らせ続けるという約束（ルカ10:34-35参照）といった要素はすべて、医療従事者やソーシャルワーカー、家族、ボランティアの献身的な働きを示しており、彼らを通して世界のあらゆる場所で日々、悪に立ち向かう善が生まれているのです。



パンデミックが続いたこの数年間、医療と研究の現場で日々働く人々への感謝の気持ちは深まりました。しかし、このような計り知れない集団的悲劇から立ち直るには、英雄たちを称えるだけでは十分ではありません。新型コロナウイルス感染症は、専門知識と連帯感の巨大なネットワークに負担をかけ、既存の公共福祉制度の構造的な限界を露呈させました。だからこそ、感謝の気持ちと同時に、各国において、すべての人が基本的かつ適切な医療を受ける基本的な権利を保障するための戦略と資源を積極的に模索する必要があります。

サマリア人は宿屋の主人に「彼を世話してください」（ルカ10:35）と呼びかけます。イエスは私たち一人一人にも同じ呼びかけが与えられています。イエスは私たちに「行って、同じようにしなさい」（ルカ10:37）と勧めています。私が「兄弟すべて」で述べたように、「このたとえ話は、他者の弱さを理解し、排除の社会の創造を拒否し、代わりに隣人として行動し、共通の利益のために倒れた人々を持ち上げて更生させる男女によって、どのようにコミュニティが再建されるかを示しています。67)確かに、「私たちは愛の中にのみ見出される充足感を得るために

創造されました。私たちは苦しみに無関心であることはできません」（68）。68）。

2023年2月11日、ルルドの聖地を思い巡らしましょう。現代社会において教会に託された預言的な教訓です。重要なのは、うまく機能している人々や生産的な人々だけではありません。病める人々は、まさに神の民の中心であり、教会は彼らと共に歩みます。それは、誰もが大切であり、誰一人として見捨てられず、置き去りにされたりするべきではないという人間性のしるしです。

病める者の癒しである聖母マリアの執り成しに、病に苦しむ皆様、ご家族の中で、あるいは仕事、研究、ボランティア活動を通して病人を支えておられる皆様、そして個人、教会、そして市民社会において兄弟愛の絆を育むことに尽力されている皆様に、私は託します。皆様に心からの祝福を捧げます。



ローマ、サン・ジョヴァンニ・イン・ラテラノ、2023年1月10日

フランシス

あなたはカトリックの看護師ですか、それともカトリックの看護師ですか? nurse?

1935年8月27日、ローマで開催された国際カトリック看護師世界会議において、教皇ピウス11世はカステル・ガンドルフォに集まった2000人の看護師たちに演説を行いました。異教と物質主義があらゆる場所に浸透していることへの懸念を表明した後、教皇は次のように述べました。「ですから、皆さんは何よりもまず、そしてどんな犠牲を払っても、霊性、キリスト教、キリスト教的超自然の精神に満ちていなければなりません。…私たちは、自分自身が持っていないものを他人に与えることはできません。…そして、皆さんの援助が病弱な人々にもたらすべき宝は、まさに霊性、超自然の宝なのです。」教皇は、看護師が物質的な身体的慰めと専門的な知識を持つことの重要性を指摘しました。しかし、何よりもまず、私たちはキリスト教的超自然を身につけていなければなりません。聖母マリアが推奨する5つのカトリックの規律をご紹介します。私たちはこれらを取り入れてみてはいかがでしょうか。

聖書 / 聖体拝領 / ロザリオ / 断食 / 告解（毎日の朗読） / （毎週日曜日） / （毎月）
（毎日） / （週2回） /

地域会長の活躍 注目のアジア地域 Featured Asian Region



フランシスカ・マランティンさん
アジア地域社長

私がアジア地域の CICIAMS メンバーをどのように組織したかについて共有します。

私がCICIAMSアジア地域会長に選出されたとき、最初に思い浮かんだのは頭に浮かんだのは、私が CICIAMS アジア地域会長にふさわしい資格が自分にあるのかと自問しながら、直面している大きな課題でした。

私は導きを求めて祈り、元ナショナルマレーシアのカトリック看護師組合の牧師、アロイシウス・フェディレス神父は、私に常にアドバイスを与え、前進する道を導いてくれました。

前アジア地域会長のテレサ・チョン博士から引き継いで、私はアジア地域のすべてのメンバーとコミュニケーションを取り、それぞれの会長に自己紹介しました。ほとんどのメンバーとはWhatsAppアプリのテキストメッセージで連絡が取れるため、WhatsAppを使ったコミュニケーションフォーラムを作成しました。

アジアには9つのCICIAMS加盟国があります。

- | | | |
|-----------|------------|--------|
| 1. マレーシア | 4. 日本 | 7. インド |
| 2. シンガポール | 5. パキスタン | 8. 香港 |
| 3. 韓国 | 6. バングラデシュ | 9. タイ |

最近台湾と連絡を取ろうとしましたが、まだ会員資格の更新ができませんでした。CICIAMSの応答がなかったため、フィリピンとの通信ができませんでした。

9人の加盟協会の全国会長とは、メールやWhatsAppのテキストメッセージを通じて緊密に連絡を取り合うことができました。議論や意見交換を行い、各加盟協会の会長からそれぞれの協会の活動について共有していただきました。

私は、CICIAMS アジア地域会長としての役割を果たすという誓いを心に留め、会員の募集、維持、成長のための方法を学び、共有し、そこから強みに焦点を当て、弱点を改善するように努めました。

CICIAMS第21回世界大会において、CICIAMSアジア地域の会員団体と議論することができ、大変嬉しく思っています。大会にはアジア地域から4カ国から代表者が出席し、会員の募集、維持、成長における成功事例や課題について、それぞれの考えを共有することができました。

私たちはCICIAMSのビジョンとミッションについて議論し、ビジョンとミッションに関するワークショップを開催することを提案しました。各国立協会の設立方法に関する行動計画を策定するため、これらの行動計画は、短期、1年、3年ごとに定期的に見直されることになっていた。



看護師の日のお祝い
カトリック看護師ギルド (CNG) - マレーシア



シンガポールCNGスピリチュアルリトリート、バタムリトリートセンター
2022年11月26日と27日、ジョンソン・フェルナンデス神父の指導

私は加盟協会のリーダーたちに、次の3つの柱に焦点を当てるよう求めました。

1. 専門委員会: 2. 精神委員会: 教育、実践、研究。

会員は神に近づき続けなければなりません。会員は最新の情報を入手し、それぞれの実践分野に関係するすべての人々のために毎月ミサを組織しなければなりません。会員たち。ミサは協会の結束力です。

3. 社会委員会: 各協会は、親睦を深めるためにアウトリーチ活動、ロードショー、家族の日を企画します。



スピリチュアルセミナー - 韓国カトリック看護師協会

インドのカトリック看護師ギルドもZoom祈禱会を開始し、表彰式も開催しました。

看護師の優れたパフォーマンスを称えるため、CNGマレーシアは世界中の最前線で働くすべての人々の保護と支援を願う24時間の口ザリオの祈りを開始しました。この活動は現在も続いています。シンガポールでは、Zoomで四旬節の黙想会を開催しました。

マレーシアではZoomを使ったセミナーが開催されました。CNGマレーシアは、看護師の日を祝うプログラムの一つとして「看護師による看護師のエンパワメント」を実施しました。これらの活動をWhatsAppプラットフォームで共有したことで、他のメンバーもそれぞれの地域で同様のプログラムを実施するようになりました。

就任以来、バーチャル会議を開催することができず、主な連絡手段はWhatsAppとメールでした。これらのフォーラムを通じて、メンバーの皆様と常に連絡を取り合っています。

会員の皆様と未来のビジョンを共有できることを嬉しく思います。多くの国が関係強化を目指しており、それぞれの教区内の様々な医療協会の会員と様々な活動で協力することで、ネットワークを構築しています。それぞれの教区で活動を行うのは良いことです。全国レベルよりも小規模なグループで活動を行う方がやりやすいからです。看護師が福音の価値観を実践できるよう、霊性に関するセミナー、リーダーシップ・リトリートなどを通して支援してい

ます。

巡礼;

- 看護師の能力開発のための専門セミナーを開催し、専門性の向上を図ります。
- 特に緩和ケアや高齢者介護に関するボランティア活動を看護師に奨励する。
- 各国の指導者がそれぞれの国の CNG 支部を訪問します。

各地域の皆様には、私が作成したWhatsAppグループを通じて、引き続き活動を共有していただくようお願いいたします。私が担当する各地域の会長の皆様とは、このプラットフォームやメールを通じて良好なコミュニケーションをとることができ、大変嬉しく思っています。

彼に仕えて

フランススカ・マランティン



若手看護師のためのスピリチュアリティセミナー



CICIAMSアジア地域会長、シンガポール、韓国、マレーシア、バンガラデシュのメンバーとの議論

CINGO フォーラム、ローマ、イタリア Italy



CICIAMS を代表して、Dr. アン・カビムバは、2022年12月2日から3日にローマで開催されたカトリック・インスパイアードNGO (CINGO)の会合に出席しました。CINGOは、カトリック・インスパイアードNGOが会合し、協力するためのフォーラムです。112名が出席しました。

会議は、主要な社会変化と課題に関する議論から始まりました。急速な変革に直面している世界社会は、CINGOフォーラムにとって教育、家族、健康など、中核的な優先事項を定めることを困難にしています。優先事項の特定に続き、フォーラム参加者は、政府間政策（中絶、気候変動問題、若年層、ソーシャルメディア、教育、そしてパンデミック、ウクライナ紛争とその影響、難民・移民といった新たな脆弱性）に関して、どのような措置とアドボカシー活動を行うべきかについて議論しました。初日は、人間中心主義の促進と、市民的責任に焦点を当てた新たな教育パラダイムに向けた国際的な連帯の重要性を認識し、締めくくられました。

2日目の目標は前進することだった協働モデルにおける課題について議論が交わされました。参加者は、主要な課題（例：法律、政治など）と、協働を進める方法について議論しました。多元的なプラットフォームにおいてカトリックのアイデンティティを維持することの重要性（例：カトリックの教義と教会の教え、同性愛に関する物語、幹細胞移植、体外受精、クローン技術など）についても議論しました。

カビムバ博士は、健康と家族に関するテーマ別グループと協力し、以下のことを特定しました。

- 課題:パンデミック/流行の出現、安楽死、中絶、母子死亡率、COVID-19、HIVなど。
- 展望 :健康、環境、慢性疾患ケアにおける家族の役割、脆弱なグループ :女性、子供、障害者、避難民など。
- 今後の方向性:家族や健康問題に関してキリスト教系の組織や医療施設と協力する
 - 人身売買、ジェンダーに基づく暴力に取り組む組織
 - 青少年 :薬物使用/乱用
 - 精神衛生上の問題
 - 高齢者、慢性疾患/病状

CICIAMS は CINGO フォーラムに参加することでどのようなメリットを得ますか？

- 教皇と国際社会の承認
- コラボレーションプラットフォームとの連携
- 人間の健康と幸福のためのアドボカシー
- 政策への貢献を共有する
- 新しい知識（研究）と相乗効果。

GCF-GCD フォーラム、オンライン

世界連合友の会

ジュネーブ・コンセンサス宣言（GCF-GCD）は、世界中の女性のための建設的かつ保守的な健康政策、すなわち妥協のないプロライフ、プロ女性、プロファミリー（生命、女性、家族）政策について、志を同じくするNGO間の協力の必要性から生まれました。主催者である女性健康研究所（IWH）は、このビジョンを「最適な女性の健康」と呼んでいます。



GCF-GCDは、中絶問題から遡り、世界中のすべての女性の最適な女性の健康に向けた前向きなビジョンへと進むことを目指しており、現在37カ国が参加し、各国のNGOがその原則の推進に協力しているジュネーブ・コンセンサス宣言（GCD）を推進することでこれを実現することを目指しています。

ジュネーブ合意宣言の友の世界連合（GCF-GCD）は、以下の目標の達成を目指しています。

- 関係するNGOパートナーを招集し、Optimal Women'sにとって有益な関係を維持する健康;
- 国内および国際の統合的な反動的なものではなく建設的なビジョンとしての、生命尊重、女性尊重、家族尊重の社会の姿を示す最適な女性の健康に関する政策と行動計画。
- ベストプラクティスの共有、研究に基づく戦略、相互の強みの活用を通じて、世界中で本物の最適な女性の健康政策を推進します。

アン・カビムバ博士が最初のオンライン会議に出席した2022年8月31日にGCF-GCDの理事会がCICIAMSとこの尊敬すべき機関とのさらなる協力を推奨しました。グループ。

2022年12月15日、OSF（欧州女性連合）の家族委員会委員長であるシスター・セシリア・アダチェは、連合とオンラインで会合を開きました。様々な国や大陸から56名が参加しました。会合の目的は、同じ志を持つNGOと連携し、女性が到達可能な最高水準の健康の権利を擁護するというビジョンを世界規模で実現すること、家族の健康と力強さに対する女性の不可欠な貢献を促進すること、そして生命の権利を守るという最優先事項を表明することでした。

彼らの取り組みには以下が含まれます。

- 政治、経済、公的生活のあらゆるレベルにおいて、女性があらゆる人権を完全に享受し、平等な機会を得られるよう協力する
- 医療および保健サービスへのアクセスを改善し、確保する性と生殖に関する健康を含む女性の開発利益は、中絶を含まない、到達可能な最高の健康基準である最適な健康を常に促進しなければならない。（続き）



カナダの死の文化における患者のケア: Text of Canada's Culture of Death: カトリックの看護師が安楽死の制限を主張: Catholic Nurses' Concerns on Euthanasia

ヘレン・マギー、RN MN CPMHNC
NACNカナダ会長

カナダカトリック看護師全国協会 (NACN-C)は、看護師の道徳的問題に因って2018年に設立されました。カナダ最高裁判所の2015年のCarter対カナダ (AG)事件に対する苦悩カーター判決は、苦痛が重く回復不能と判断され、かつ処置に同意した患者に安楽死を施行した医師に対する刑法上の制裁を撤廃した。カナダでは、医療による死は通常、致死注射によって行われ、婉曲的に「MAiD」 (Medical Assistance in Dying)と呼ばれている。

奇妙なことに、この判決はカナダ権利自由憲章で保障されている生命の権利に基づいていました。最高裁判所判事はカーター事件において、重篤かつ治癒不可能とみなされる健康状態にある人々は、安楽死の権利がない限り、希望よりも早く自らの命を絶つことで苦しみに対処しなければならぬ可能性があることを主張しました。カーター大統領は連邦政府に対し、この決定をどのように実施するかに関する法律を制定する1年間の猶予を与えました。州政府は医療の規制、資金調達、そして運営に責任を負っているため、この決定の実施には州政府も関与してきました。一部の州では、医療誘導による死の相談を、中央の「遠隔医療」サービスを通じて行い、幅広い医療サービスへのアクセスとアドバイスを提供するシステムを構築しました。

しかし、オンタリオ州では、医学的に誘発された死を受けるには医師または看護師の紹介が必要です。

各州の専門機関は、規則に違反した医療従事者を懲戒する責任がある。倫理基準と「専門職としての義務」に関する文書。オンタリオ州で最近行われた2件の裁判では、良心を理由に物議を醸す処置への患者の紹介を拒否した医師の問題が取り上げられました。裁判所は、物議を醸す処置を受ける患者の権利は、医師の良心の自由の権利よりも優先すると判断しました。医師の良心の自由はカナダ権利自由憲章で保護されていますが。

悲しいことに、カナダでは2016年以降、安楽死の基準とその実施率が容赦なく増加しています。医学的に2021年、医療による死の介助は全死亡数の3.3%を占めた。これは、2020年の2.5%、2019年の2.0%から増加している。これは、2021年版医療による死の介助に関する第3回年次報告書で述べられている。2020年と比較すると、安楽死による死亡率はケベック州 (全死亡者の4.7%)とブリティッシュコロンビア州 (全死亡者の4.8%)で最も急速に増加した。

カナダカトリック看護師全国協会 (NACN-Canada)は、連邦および州レベルの政治家に意見書を提出しています。協会は、医師、先住民、障害者の権利擁護団体、そして信仰に基づく団体と協力し、患者の保護と良心の自由を訴えています。例えば、2017年3月23日には、NACN-Canadaの創設理事2名がオンタリオ州議会の委員会で良心の自由について演説を行いました。この記録は2017年3月23日の投稿は、その初期の例を示しています。

NACN-Cの志を同じくするグループのネットワークは、患者と看護師の擁護活動の機会を見つける上で重要な役割を果たしてきました。同時に、NACN-Cは、死の文化と隣り合わせて働くことに関連する道徳的苦悩を抱える看護師を支援し、安楽死を求める声の根底にある問題に取り組む団体 (Horizons of Hopeなど)の活動を推進しています。そして思いやりのあるコミュニティケア。NACN-Cはまた、世俗の大学で教育を受けたカトリックの看護師たちに、人間の生命の始まりと終わりに関するカトリックの教えを学び、実践する恵みが神から与えられるよう祈っています。NACN-Cの目標は、法改正や規制改革の見通しが暗い時でも、聖霊の導きに従って行動することです。

最近の例では、NACN-Cは同僚からオンタリオ州内科医・外科医師会 (CPSO)への回答を依頼されました。CPSOは、物議を醸している処置について「効果的な紹介」を行い、患者にそれらの処置に関する一方的な情報を提供するという医師の義務を強化することを提案していました。オンタリオ州保健副大臣は、2021年11月にNACN-CからCPSOの提案に関する書簡を受け取った後、NACN-Cの会長と医師の同僚を、自身、看護主任、そして職員との面会に招待しました。

NACN-Cは、州がCPSOの提案を無視して、医療専門家がMAiDに関する一方的な情報提供。さらに、MAiDが直接の死因であっても、基礎疾患を死因として特定することが法律で義務付けられているため、NACN-Cは死亡診断書の透明性を求めた。これにより、MAiDとその後の家族における自殺との関連性を調査することができる。最後に、NACN-Cは、精神疾患を唯一の基礎疾患とするMAiDに関する連邦法の施行を遅らせ、制限することを提唱した。NACN-Cの医師の同僚は、現在CPSOで義務付けられている効果的な紹介に代わる手段として遠隔医療紹介システムを推奨し、地域機関の職員が安楽死に関する一方的な情報を提供したことが患者にとってどのような意味を持つかを説明した。

NACN-Cとその医師仲間、オンタリオ州保健副大臣との会談準備を進める中、CICIAMS執行委員会のメンバーと共に祈りを捧げました。安楽死が神の似姿として造られたすべての人々の尊厳を脅かすこの国、カナダと世界中の人々のために、私たち皆が祈り続けられますように。

追悼Memoria



バーニー・スピレーン。アイルランド・カトリック看護師ギルドと多くのCICIAMS協会の会員は、2022年5月1日にバーニー・スピレーンが亡くなったことを深い悲しみとともに知りました。バーニーは2018年に癌と診断され、その時からこの世での余命が限られていることを知っていました。彼女は生涯を通じて深い信仰に恵まれていました。その後4年間に渡る数々の苦しみを、彼女は不平を言わず、強い意志と受け入れの精神で乗り越えました。

バーニーは正看護師と助産師の資格を持っていました。1950年代には、ダブリンのピーマウント病院とミース病院で正看護師の研修を受けました。その後、

ダブリンの国立産科病院で助産師研修を受け、その後のキャリアにおいてこの分野を専門としました。当初は助産師として勤務し、臨床看護管理者を経て助産師副部長に昇進しました。同病院在籍中、そして退職後はリネンギルド（リネンギルド）の会員でした。リネンギルドは、寄付や募金活動を通じて資金を集め、病院に通う真に支援を必要とする母親と乳児に緊急支援を提供する慈善団体です。また、ミース病院の過去の看護師同窓会にも参加していました。

バーニーは40年以上にわたりカトリック看護師ギルドの活動的な会員でした。全国書記、助産師委員会委員、そして一般委員会委員を歴任しました。彼女は時間とスキルを惜しみなく提供し、仕事が必要になった際には常に真っ先にボランティアとして参加しました。頼まれた仕事を断ったことは一度もありませんでした。

バーニーは2008年から2012年までCICIAMSの国際会計担当を務めました。長年にわたり、ベルギー、メキシコ、ザンビア、ダブリン、スワジランドなどで開催されたCICIAMSの多くの会議に出席しました。2014年にダブリンで開催されたCICIAMS第19回会議の組織委員会メンバーでもありました。

看護の仕事以外では、バーニーは熱心なゴルフ愛好家で、病気になるまで少なくとも週に一度はプレーしていました。また、音楽コンサートや幅広い友人との交流も楽しんでいました。彼女は常に親切で礼儀正しく、「完璧な女性」とよく言われていました。

バーニーの遺族には、妹のジュリーと姪と甥がいます。家族とアイルランドカトリック看護師組合のメンバーは、彼女を深く偲んでいます。

Ar dheist Dé go raibh a hanam dílis (彼女の忠実な魂が神の右にありますように)。

ジェラルディン・マクスウィーニー

GCF-GCDフォーラム(続き)

- 中絶の国際的な権利はなく、国家側に中絶を行う国際的な義務もないことを改めて確認する。
各国は自国の法律と政策に従ったプログラムや活動を実施する主権の権利を有するという長年の国際的合意に従い、中絶に資金を提供したり、促進したりしないこと。
- 保健システムの能力を構築し、脆弱な状況にある女性と子どものニーズに対応し、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを推進する保健・開発プログラムを実施するための資源を動員します。
- 保健医療能力の構築と、国内、二国間、多国間における資源動員を含む、女性と女兒、そして家族のための支援的な公衆衛生政策を推進する。

- 家族が社会の基盤として、また健康サポートとケアの源としての役割をサポートする
- 国連システム全体でこの普遍的価値の実現に取り組み、

私たちは個々でも強いです、一緒にいればさらに強くなります。

ヴァレリー・フーパー社長兼CEOと彼女のチーム（グロリア・ワーチェス、アンジェラ・ガンドラ）は、参加者が女性の健康の促進と家族の強化に関するジュネーブ合意宣言への支持を示すべきであり、より多くの国と人々が参加することを望んでいると訴えた。

女性が生涯を通じて健康、生命、尊厳、幸福に関して可能な限り最高の成果を達成することを強く支援します。

www.thegcd.world

CICIAMSの地域会長、加盟協会会長、委員会委員長、そして会員の皆様、「どうすれば社会が家族生活を重視するよう貢献できるでしょうか？」と自問自答し、その答えをワークショップ、政策立案、そして日常生活の中で実践していきましょう。CICIAMSを代表してご尽力くださったOSFのシスター・セシリア・アダチェに感謝申し上げます。



組織のビジネス of the Organization

CICIAMS公式文書とリンク

CICIAMS の定款および規則: www.ciciams.org/ciciamsreports.html

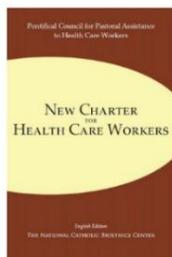
CICIAMS カトリック看護師のための倫理ガイドラインと実践原則: www.ciciams.org/ethicscommittee.html

加盟協会: www.ciciams.org/linksliaisons.html

実行委員会: www.ciciams.org/executivecommittee.html

CICIAMS 執行委員会報告書 - 2022: www.ciciams.org/executivecommittee.html

医療従事者のための新しい憲章 Health Care Workers



2017年に教皇庁医療従事者司牧支援評議会によってイタリア語で更新・出版されました。評議会に代わって、米国立カトリック生命倫理センターがガイドラインを英語に翻訳し、オンラインで無料で公開しています。https://www.ncbcenter.org/store/newcharter

CICIAMS 国際会長は、2017年に評議会が統合されて総合の人間開発部が設立されるまで評議会で活動していました。

イベントカレンダー



第31回世界病者の日、2023年2月11日

CICIAMS役員 2月17日 & 執行部
理事会、2023年2月18日および19日、ローマ

国際助産師の日、2023年5月5日

国際看護師の日 - 看護師グローバルインパクト社賞、国連、2023年5月12日午前10時~午後2時30分
<https://nurseswithglobalimpact.org/>

教会のモデレーターの年次会議
運動と新しいコミュニティ、信徒のためのディカステリー、
ファミリー&ライフ、2023年6月22日、ローマ

第3回世界祖父母と高齢者の日 2023年7月23日 (7月の第4日曜日、イエスの祖父母である聖ヨアキムと聖アンナの祝日に近い)

ワールドユースデー、ポルトガル、リスボン、2023年8月1日~6日

第109回世界移民・難民の日、2023年9月24日

第7回世界貧困者の日、2023年11月12日

2024年 - 地域会議 - ケニア*

2026年 - CICIAMS XXII 世界会議 - タイ*

*ビザ手続きを早めに始めましょう



CICIAMS ミッション

§ 1. CICIAMSのミッションステートメント 教会の道徳的および社会的教えに基づき、CICIAMSは次のことを約束します。 •国際的に医療従事者を指導および支援すること

により、私たちの生活の中でキリスト教の証しを与える

- 受胎から出産まで、人生に対する前向きなビジョンを育む死
- 他の国内外の団体との活動においてキリスト教と職業的価値観を代表する
- 看護専門職の精神と理想を広めるための会員協会の活動を調整する

• 活動の開始と参加を促進する
最適なケアと健康の達成に向けた専門的な研究開発

• 他者の宗教的信念を尊重し、その信念を実践する権利を認める



CICIAMSの目的

- 会員の専門的かつキリスト教的な利益を代表する
- メンバーの精神的な福祉と倫理的価値観の促進
- 健康および社会的な健康対策を推進する
カトリックの原則と専門能力開発
- 加盟協会間の協力の促進

ニュースをCICIAMS事務局宛にお送りください:

CICIAMSInternational12@gmail.com

次のニュースレターの締め切り :2023年3月15日

毎日が豊かに祝福されますように